

独立90周年記念撮影



平成30年11月30日撮影



**昭和
小
第15号**

校長室便り
文責
生田 文明

本校は、昭和二年二月十一日に千丁尋常高等小学校仮校舎として開校し、昭和三年九月十四日に八代郡昭和尋常小学校となり、分離独立しました。それから数えて今年で九十年となります。現在の校舎は三代目、体育館も講堂時代を入れると三代目です。

九十周年の記念として、今回は地域の小山さん、柴田さんのご協力のもと、ドローンを用い、昭和小学校上空

九十mから撮影していただきました。昭和の特産品であるはちねトマトを運動場に描き、全校児童四十四人と教職員十一人で縁取りをし、撮影に備えました。

十年前の航空写真と比べると、ソーラーパネルが載った体育館が新設され、撮影方法もセスナ機からドローンへとなり、時代の変化を感じます。次の独立百周年では、どんな記念写真が撮れるか今から楽しみです。

持久走大会

めざせ！自己ベスト記録



二日（日）に持久走大会を開催しました。

今年度は、児童の安全管理面、大会までの練習や当日の運営面を考慮し、校内を周回するコースで、児童に自己ベスト記録に挑戦してもらいました。

朝の時間や体育の時間で走り込み、大会当日を迎えました。

たくさんの保護者の方や地域の皆さんの応援が走りの後押しし、多くの子どもたちが、自己ベストで、ゴールすることができました。応援の力はすごいです。ありがとうございます。

初めて行った校内での持久走大会でした。今年の反省を踏まえ、次年度の大会運営に生かしていきます。

餅つき大会



持久走大会の後は、JA青壮年部、保護者の皆さんのご協力のもと、毎年恒例となっております「もちつき」を行いました。

学校田で育てたもち米を蒸し、昔ながらの石臼と杵を用いて、「べったんべったん」と蒸したもち米が冷めないうちに急いでついて餅にしていきました。

今では、家庭で餅つきをされるところは減り、すでに出来上がり包装された餅がスーパー等で多く見かけられるようになりました。

新年を迎えるにあたり、古くからの伝統行事であるこの餅つきを、子どもたちが体験できたことをとてもうれしく思います。地域や保護者の皆様のご協力、誠にありがとうございました。

